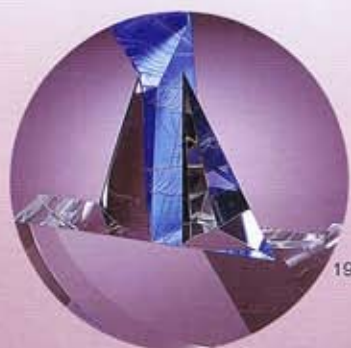


現代ガラス

光の造形展



Mark Peiser [Gathering]
1983年 高さ:29.5cm 幅:15.5cm



2006年7月20日(木)～11月26日(日)

●開館時間 4月～10月 9:00～18:00 ●会期中無休

11月～3月 9:00～17:00

※閉館時間の30分前までにご入館ください。

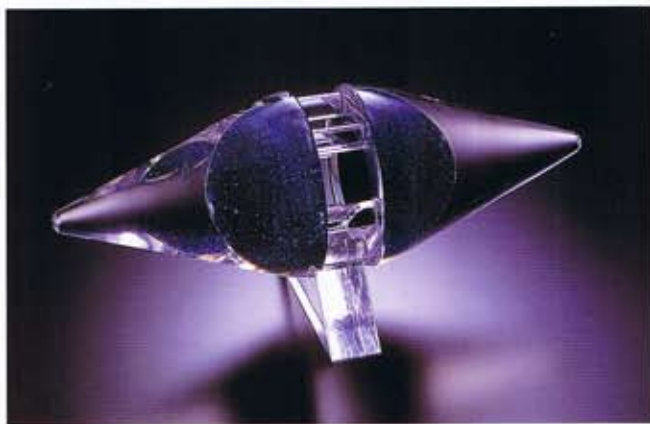
●入館料 大人800円、団体(8名以上)700円 中学生以下 無料

●会場 / 清里北澤美術館 ●主催 / 清里北澤美術館 ●協賛 / 株式会社キッツ



清里北澤美術館

KIYOSATO KITAZAWA MUSEUM OF ART



伊藤 けんじ「銀河Ⅱ世」1990年 高さ:20cm 幅:47.3cm



藤田 潤「宙」1992年 幅:65cm 高さ:10.5cm

20世紀初頭に流行した装飾美術の革新運動(アール・ヌーヴォー)において、幾多の名作を世に送り出したエミール・ガレやドーム兄弟は、ガラスという素材が持つ表現領域を大幅に拡充し、工芸を芸術の域にまで引き上げる偉大な貢献をしました。彼らの活躍から刺激を受けたルネ・ラリックも、ジュエリーデザイナーとしての活動から身を引き、ガラス作家へと転進し、ガレの衣鉢を継ぐかたちで20世紀前半のガラス工芸界をリードしてゆく存在となっていきます。第二次世界大戦後、アメリカで始まったスタジオグラス運動は、小型の溶解炉を個人のスタジオに設置することで吹きガラスによる実験

的な試みを容易にし、陶芸や彫刻の分野からの転向者も巻き込んで、数多くの個人作家を輩出するようになりました。

清里北澤美術館では、20世紀初頭の華麗な装飾ガラスを常設展示しておりますが、このたびの展覧会は、アール・ヌーヴォーから1世紀を経て誕生した20世紀末の斬新なデザインの現代ガラス作品を合わせて展示し、この100年間のガラス工芸がたどった目覚ましい変貌の過程をご高覧頂きます。



William Morris 「Suspended Artifact」
1992年 高さ:49cm φ21cm



Dante Marioni 「Leaf Vase」1996年 高さ:100.5cm



Mark Peiser 「Gathering」
1983年 高さ:29.5cm 幅:15.5cm



Jan Mares 「Sail Boats」1992年 高さ:25cm



Dante Marioni「Mosaic Vase」
1996年 高さ:54cm φ14cm



Yan Zoritchan 「Fleur Celeste」
1990年 高さ:63.3cm 幅:32cm